

第23期 中間

イーサポートリンク株式会社

株主通信

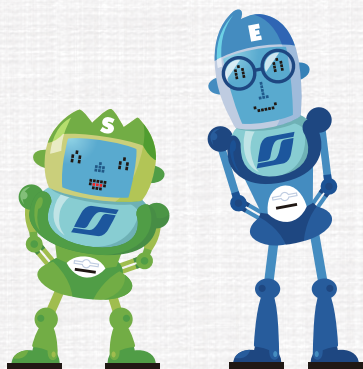
2019年12月1日～2020年5月31日

届けたいのは笑顔

食の安全・安心をみんなに

【社長インタビュー】
株主の皆様へ

【特集 おしえて！イー君・サポ君】
イーサポートリンクの
今後の事業展開



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別の高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第23期中間「株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

2020年11月期第2四半期の業績につきましては、オペレーション支援事業では、「生鮮MDシステム」が既存導入店舗のトランザクション量が増加し、売上に寄与したものの、「イーサポートリンクシステムVer.2」および業務受託サービスについて、輸入青果物のインポーター1社と業務受託契約が終了したことにより業務受託量の減少も発生いたしました。今後、業務受託量の増加に向けて、他の既存顧客との関係強化や、新規受託先の開拓を図ってまいります。

農業支援事業では、りんごの生産数量の減少により販売量は減少しましたが、有利販売により売上に寄与いたしました。ドラッグストア向け青果売り場構築については、コロナ禍の影響により新規の導入店舗数は微増となりました。下期には年度計画を達成すべく導入のスピードアップを図りたいと考えております。また、子会社につきましては、メキシコ産有機バナナの販売数が大幅に増加したことにより、売上増加に寄与いたしました。

これらの結果、売上高は28億22百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は96百万円（同42.0%減）、経常利益は93百万円（同43.1%減）、親会社に帰属する四半期純利益は51百万円（同42.4%減）となりました。

当社を取り巻く生鮮流通業界につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う緊急事態宣言発令により家庭内の食需要が高まったため、スーパーマーケットやドラッグストアでの食品関連売上は伸長いたしました。一方で、中小スーパーマーケットのサプライチェーンは大手に比較して弱いため荷物が入ってこなかったこと、また、大手チェーンストアでもサプライチェーンの運用を絞ったために、一部の商品が調達できなかったことなどが発生いたしました。

当社は、新規事業として輸入青果物サプライチェーンのノウハウを活かした国産青果物プラットフォームの構築をすすめることを計画しており、コロナ後の環境変化は業界に貢献できるビジネスチャンスと考えております。

今回のコロナ禍は、社会全体や社員の働き方などにも大きな影響を与えています。当社も新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するリスクに備えるため、財務面の強化やテレワークなどの働き方改革の推進、職場環境の整備などを積極的に実施してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

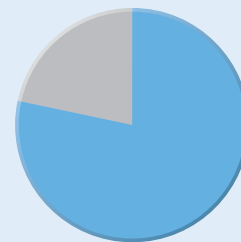


代表取締役社長
堀内 信介

セグメント別概況

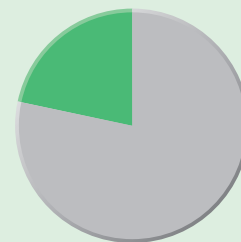
売上高構成比

2,218百万円 78.6%



オペレーション
支援事業

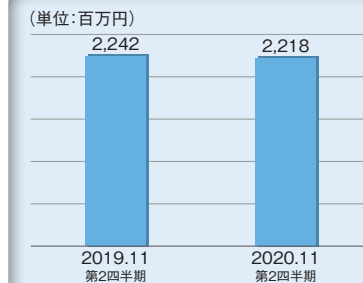
604百万円 21.4%



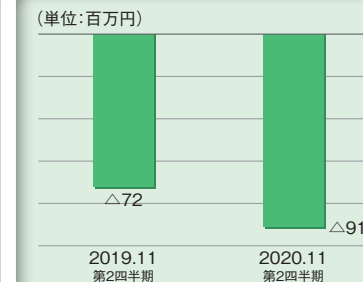
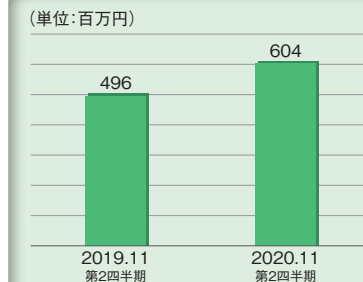
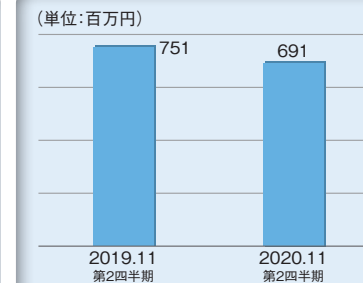
農業
支援事業

売上高推移

売上高



セグメント利益



※セグメント別業績の内容については社長挨拶に記載しております

IR活動報告

当社は、経営の透明性を高めるため、情報開示をはじめ投資家向け説明会を定期的に行っています。

■ 2020年1月29日（水）
機関投資家向け「2019年11月期 決算説明会」を開催

■ 2020年7月29日（水）
2020年11月期第2四半期決算説明会資料を当社ホームページに掲載

説明会資料は、当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRライブラリー」に掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.e-supportlink.com/ir/library/>

株主優待について

■ 対象
毎年5月31日現在の株主名簿に記載、または記録された100株（1単元）以上の当社株式を保有されている株主様

■ 内容
青森県産100%りんごジュース 3本

■ 贈呈時期
毎年7月を予定



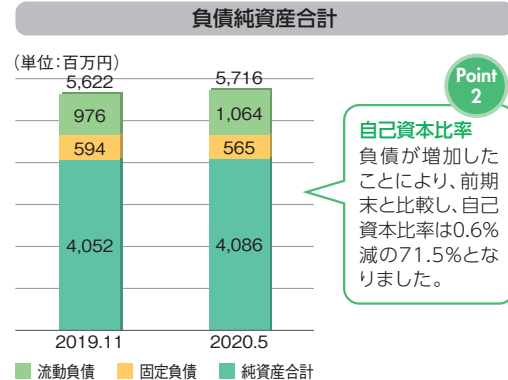
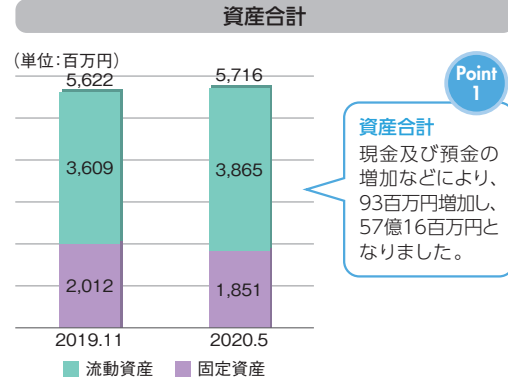
連結財務諸表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第22期末 2019年11月30日現在	第23期 (当第2四半期) 2020年5月31日現在	増減額
資産の部			
流動資産	3,609	3,865	255
固定資産	2,012	1,851	△161
有形固定資産	363	326	△37
無形固定資産	762	637	△124
投資その他の資産	886	886	0
資産合計	5,622	5,716	93
負債の部			
流動負債	976	1,064	88
固定負債	594	565	△28
負債合計	1,570	1,630	59
純資産の部			
株主資本	4,082	4,112	29
資本金	2,721	2,721	—
資本剰余金	618	618	—
利益剰余金	742	772	29
自己株式	△0	△0	△0
その他の包括利益累計額	△30	△26	4
純資産合計	4,052	4,086	33
負債純資産合計	5,622	5,716	93



財政状態に関する分析

資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて93百万円増加し、57億16百万円（前連結会計年度末比1.7%増）となりました。内訳としては、流動資産が38億65百万円（同7.1%増）、固定資産が18億51百万円（同8.0%減）となりました。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が2億1百万円増加したことによるものです。固定資産の主な減少要因は、ソフトウェアが1億27百万円減少したことによるものです。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて59百万円増加し、16億30百万円（同3.8%増）となりました。内訳としては、流動負債が10億64百万円（同9.1%増）、固定負債が5億65百万円（同4.9%減）となりました。流動負債の主な増加要因は、買掛金が1億68百万円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が12百万円減少したことによるものです。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が27百万円減少したことによるものです。

債が5億65百万円（同4.9%減）となりました。流動負債の主な増加要因は、買掛金が1億68百万円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金12百万円減少したことによるものです。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が27百万円減少したことによるものです。

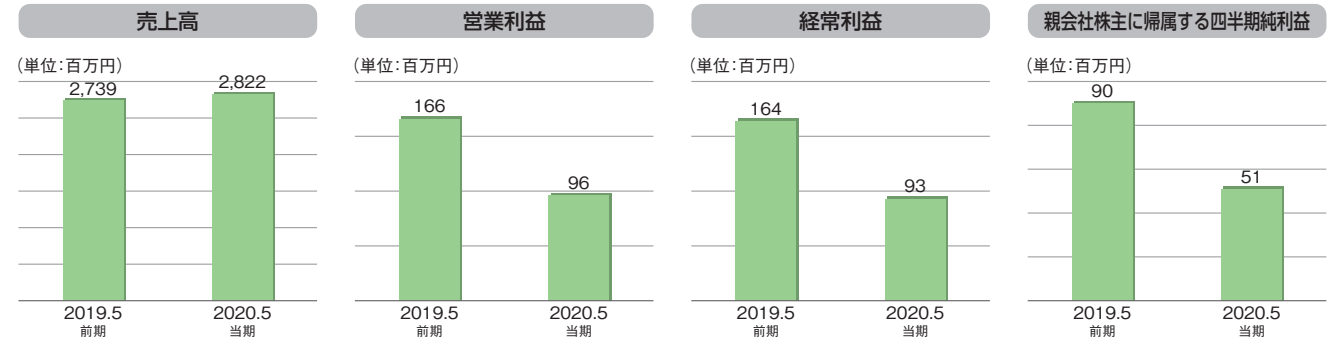
純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて33百万円増加し、40億86百万円（同0.8%増）となりました。この結果、自己資本比率は71.5%となりました。その主な増加要因は、利益剰余金について親会社株主に帰属する四半期純利益を51百万円計上した一方、配当により22百万円減少したことによるものです。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第22期 (前第2四半期累計) 自2018年12月1日 至2019年5月31日	第23期 (当第2四半期累計) 自2019年12月1日 至2020年5月31日	増減額
売上高	2,739	2,822	83
売上原価	1,652	1,727	75
売上総利益	1,086	1,095	8
販売費及び一般管理費	919	998	78
営業利益	166	96	△70
営業外収益	9	3	△6
営業外費用	12	6	△5
経常利益	164	93	△70
特別損失	6	—	△6
税金等調整前四半期純利益	157	93	△64
法人税等	67	41	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	90	51	△38



経営成績に関する分析

当社は、10年後のあるべき姿について考え、2020年1月に中期経営計画を立案し、開示いたしました。国産青果物プラットフォームの構築をはじめ、生鮮MDシステムの機能追加を実施し、未導入であった大手チェーンストアのグループ企業にシステム導入を進めることや、ドラッグストアへの生鮮品売場構築の支援など、複数の新規事業を進めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28億22百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は96百万円（同42.0%減）、経常利益は93百万円（同43.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円（同42.4%減）となりました。

今後の事業展開

2020年1月に中期経営計画を発表してるんだけど、もう少し何をするのか具体的に教えてほしいな。

いいよ。数値的なところは開示資料を見てもらうことにして、ここでは事業の方向性を話すことにするよ。当社は**オペレーション支援事業と農業支援事業の2つの事業セグメント**があるんだ。オペレーション支援事業については、食の流通インフラ（情報システムや業務受託）を顧客にサービス提供して、データの処理量に課金するビジネスモデルなので、今後の成長のために、**新規事業（第3の柱）を立ち上げる**ことにしているんだ。

どうやって第3の柱をきめたの？

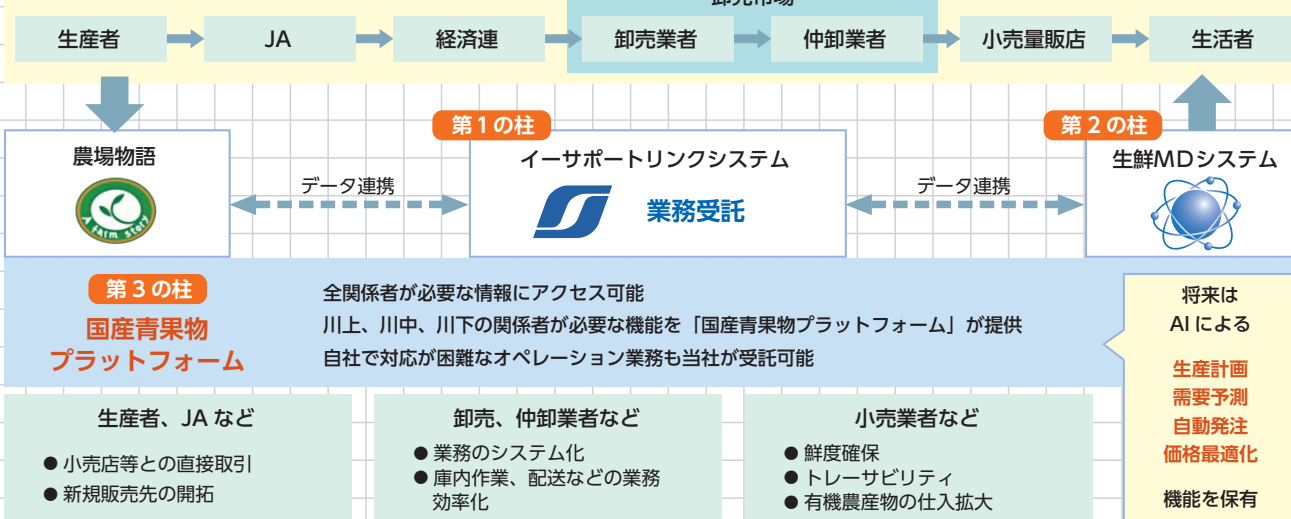
まず、当社は生鮮青果物（バナナ）の大規模サプライチェーンを日本で始めてシステム構築したノウハウと運用実績（**第1の柱：イーサポートリンクシステムVer2+業務受託**）があって、それをベースに日本最大のチェーンストアの生鮮品の仕入から納品、支払いまでオンラインで対応するシステムを構築し、サービスを提供（**第2の柱：生鮮MDシステム**）しているんだ。

生産者から中間流通業者、小売業者に至るまでの生鮮品の大規模な流通の仕組みについては、受注、加工、出荷、請求などの事務処理データ量も膨大になるんだけど、当社は情報システムと業務受託によって、**生鮮品の流通オペレーションに精通しているという強みがあるんだ。**

そこに政府が進めている農協改革や中央卸売市場の法律改正など、戦後から続いていた日本の生鮮品の流通が変わる状況になってきたこと、チェーンストア側も生鮮品の品揃えの強化や他社との差別化を図る為、地産地消や生産者との直接取引を進めていたこと、生産者も高齢者がリタイアして、若い中大規模農家が増えてきたことなどから、**国産青果物の次世代のプラットフォームの提供を第3の柱にすることを計画しているんだ。**

このプラットフォームの提供により、流通関係者が今まで不可能だった、**直接のコミュニケーションが実現**できるようになるから、業界にも貢献できるし、この国産青果物のターゲット市場は、当社の既存事業である日本でのバナナの流通規模の約33倍の流通量があるので、**当社も更なる成長が期待できるんだ。**

現状の農産物流通は多段階取引 ⇒ 将来は直接取引が主流へ



- 第3の柱 国産青果物プラットフォーム**
- 全関係者が必要な情報にアクセス可能
川上、川中、川下の関係者が必要な機能を「国産青果物プラットフォーム」が提供
自社で対応が困難なオペレーション業務も当社が受託可能
- 生産者、JA など
 - 小売店等との直接取引
 - 新規販売先の開拓
 - 卸売、仲卸業者など
 - 業務のシステム化
 - 庫内作業、配送などの業務効率化
 - 小売業者など
 - 鮮度確保
 - トレーサビリティ
 - 有機農産物の仕入拡大

将来はAIによる
**生産計画
需要予測
自動発注
価格最適化**
機能を保有

なるほど、もう1つの農業支援事業は何を目指しているの？

農業支援事業は、青森県のりんご販売や子会社での有機農産物販売、ドラッグストアでの生鮮品売り場構築支援など、**農産物の販売に関する事業**なんだよ。

この事業は、

- 有機農産物など付加価値の高い果実、付加価値の高い野菜の販売 ⇒ 小売店の品揃え支援
- ドラッグストアなど新たな販売チャネルの開発 ⇒ 生産者、中間流通業者の支援を狙いとしているよ。

有機農産物は、チェーンストアなどでもニーズはあるけど、少量しか生産できないので大量仕入れが難しいという課題があるんだ。ぼくたちは、輸入有機果実の販売や物流面の効率化など有機農産物の新たな仕組みを構築し、**小売店の品揃え強化のニーズに応えていくことを考えているんだ。**

中期経営計画として、2030年に向けて、当社は、**圧倒的優位性をもつ農産物のオペレーション会社**になることを目指しています。株主の皆様にも応援よろしくをお願いします。

株主広場

当社のコロナ対策



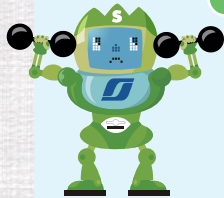
コロナ禍にどうやって対応していたの。

地震などの災害や感染症に備えてBCP（事業継続計画）を作成していたので、今回のコロナ禍についても、対策本部を開き、必要なことを決めていった経緯があるね。

具体的にはどんな感じなのかな。

当社は食の流通インフラを提供する企業なので、業務がストップすると社会に大きな影響を与えてしまう可能性があるんだ。だから、社員が感染することを最大限防ぐために、いわゆる3密（密閉、密集、密接）にならないように労務、業務、営業に関して、2020年3月より、以下の対策（一例）を実施したんだよ。

労務系	時差出勤、在宅勤務（緊急事態宣言以降は部署にもよるが、約7割の社員が対象）、子供が小さい場合は学校の休校にあわせて特別休暇の付与など
業務系	社内会議の制限、集合研修の中止（延期）、会食・接待の原則禁止など
営業系	海外、国内問わず出張の禁止。顧客への訪問は原則禁止（Web会議等へ変更）など
その他	承認フローの変更、各種マニュアルの作成（万が一感染者が発生した場合の対策マニュアル含む）など



半ば強制的に在宅勤務とかに変更して、何か問題はなかったの？

働き方改革で、一部の対象者はテレワークを始めていたんだけど、こんなに一斉に対応することは想定外だったね。

今後の課題としては、システムやオフィスなど環境に関する事、業務の切り分けや効率運用、マネジメント方法やメンタルヘルスに関する事などがあるけど、1つ1つ解決していくよ。

緊急事態宣言が解除されてからは、少し対応を緩和をしたけど、数年後にコロナ禍が収束したとしても、**変わってしまった日本の社会（ニューノーマル）**は元には戻らないと考えているんだ。逆に、これを機会に新しい働き方の構築にチャレンジして、社員のモチベーションアップにつなげたいと思っているよ。



美味しい味と香りで、ぜひ“HAPPY”に。

津軽富士とも言われる岩木山の麓で作っている「岩木山りんご」そのりんごの香りも十分にお届けするために、ご注文いただいたから一つひとつ箱詰めして、産地から配送いたします。届いた箱を開けた瞬間から漂ってくる、りんごのいい香りもご堪能ください。

皆さんがHAPPYになっていただけたら、私達もHAPPYです。



りんごとりんごジュースの通販サイトのご案内

青森県産「りんご生果」と果汁100%無調整の「りんごジュース」が、通信販売で手軽にご購入いただけます。

葉とらずりんごストレートジュース（1000ml）

- 販売価格 3本セット 2,600円（税込2,808円）
6本セット 4,500円（税込4,860円）

- 全国送料無料（一部離島除く）
※お支払い方法により、手数料等がかかる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

りんごジュースは、一年を通して販売しています。
りんご生果は季節商材のため、美味しく提供できる期間が限られています。

取扱い品種 カレンダー	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月	
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
葉とらずサン津軽			🍏	🍏	🍏													
未希ライフ			🍏	🍏	🍏													
早生ふじ					🍏	🍏	🍏											
とき					🍏	🍏	🍏											
シナノスイート							🍏	🍏	🍏									
紅玉								🍏	🍏	🍏	🍏	🍏						
葉とらずサンジョナ							🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏					
王林										🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏			
葉とらずサンふじ												🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏

※シーズンによってりんごの販売時期にズレが生じることがあります。

通販サイトはこちらからご覧いただけます

👉 クリック!

りんごの通販サイト
HAPPY HAPPY “HAPPY HAPPY SHOP”

- ・ **はっぴーはっぴ** で検索。
- ・ イーサポートリンク(株)のホームページにもバナーを貼り付けています。

お電話でもご注文を承ります!

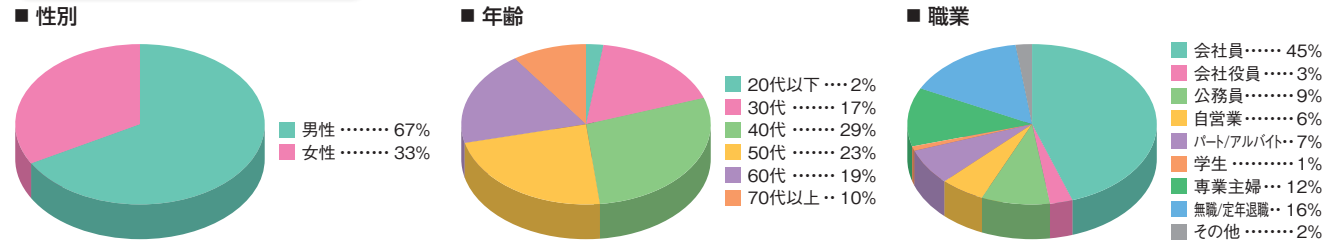
- ・ フリーコール
0800-888-1565
- ・ 受付時間
平日 10:00~17:00 祝日を除く

株主広場

株主さまアンケート結果報告

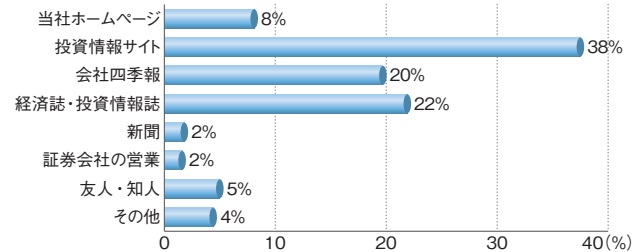
第22期「株主通信」にて、オンラインでの「株主さまアンケート」のご案内をさせて頂き、当社の事業や株式に関するご意見を聞かせて頂きました。第22期末（2019年11月末）の株主様14,409名のうち、981名からご回答を頂きました。心より感謝を申し上げますとともに、株主様1人1人のご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

ご回答頂いた株主様の属性

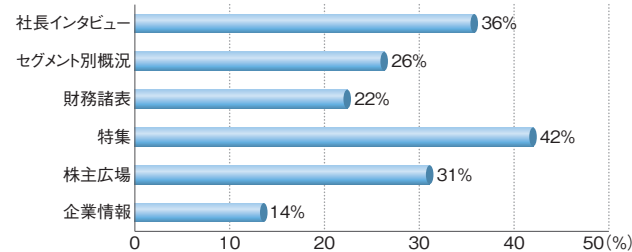


アンケート集計結果

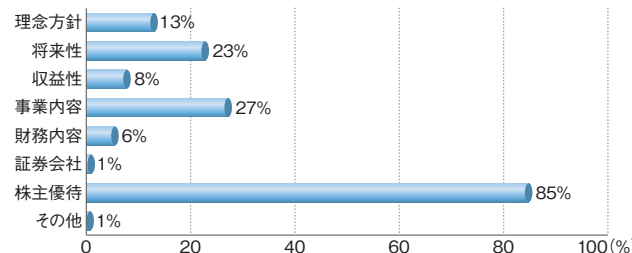
■ 当社の株式を購入する際に最も参考にした情報源は何ですか？



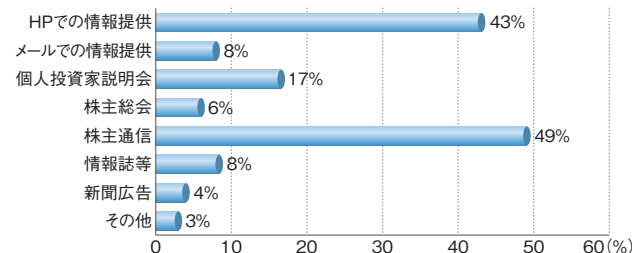
■ 第22期株主通信でよかったページはどれですか？（複数回答）



■ 当社の株式を購入された理由は何ですか？（複数回答）



■ 当社のIR活動等に充実を求めるものは何ですか？（複数回答）



企業情報

(2020年5月31日現在)

会社概要

商号 イーサポートリンク株式会社
 (英字商号 E-SUPPORTLINK, Ltd.)
 本社所在地 東京都豊島区高田二丁目17番22号
 設立 1998年10月6日
 資本金 2,721百万円
 従業員 253名（連結） 248名（個別）

株式の状況

発行可能株式総数 10,700,000株
 発行済株式総数 4,424,800株
 株主総数 16,730名

役員

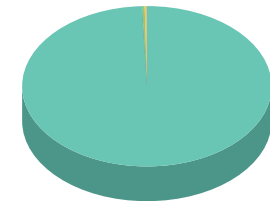
代表取締役社長 堀内 信介
 取締役副社長 仲村 淳
 取締役副社長 森田 和彦
 取締役 相原 徹
 取締役 深津 弘行
 取締役 柴田 好久
 社外取締役 細川 昌彦
 常勤監査役 升田 和一
 監査役 吉田 茂
 監査役 鈴庄 一喜

大株主一覧表

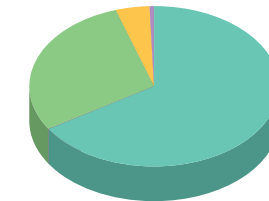
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ファーマインド	446,200	10.08
株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス	198,300	4.48
ピー・エス・アセット・ホールディングス株式会社	188,300	4.25
東洋埠頭株式会社	111,100	2.51
株式会社協和	105,900	2.39
株式会社フォーカスシステムズ	102,100	2.30
株式会社上組	96,600	2.18
イーサポートリンク従業員持株会	59,800	1.35
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM		
GCM CLIENT ACCT E PSMPJ	53,000	1.19
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	48,400	1.09

株式分布状況

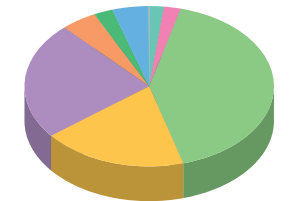
■ 所有者別株主数比率



■ 所有者別株式数比率



■ 所在地別株主数比率



株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
定時株主総会	毎年2月下旬
基準日	11月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に 口座をお持ち の場合	証券会社等に口座を お持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券 会社等になり ます。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店*
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります。)	

*：トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

公告方法 電子公告(当社ホームページ)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更手続きについて

当社株式関係書類及び株主優待等ご送付にあたり、ご引越し等により住所が変更となられている場合、お手元に届かないことがございます。住所が変更となる際は、大変お手数ではございますが、なるべく早めに当社株式をお持ちの証券会社にて住所変更手続きをお願いいたします。

イーサポートリンク株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号
TEL：03-5979-0666 FAX：03-5979-0667

ホームページのご案内

当社では、「株主通信」ではお伝えしきれない情報をホームページにて開示しています。株主・投資家の皆様に向けて、決算情報、決算説明資料、PR情報など、タイムリーな情報提供を心がけております。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.e-supportlink.com/>



UD FONT

本文に見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

